

第8回日本フォスターケア研究大会開催事業報告書(概要)

令和4年1月18日

令和3年12月19日(土)にオンライン方式(一部来場方式)で第8回研究大会、関東甲信越静里親協議会代表者等研修会を次のとおり実施しましたので報告いたします。

関東甲信越静里親協議会と共同開催ができたこと、関東甲信越静里親協議会を通じてテレビ朝日福祉文化事業団からの助成が得られたことに深謝いたします。おかげさまで参加費を無料とすることができましたが、コロナ禍の影響もあり、外出自粛要請もあり、参加意欲が減退しているのか参加数は135人となってしまいました。開催方法に課題を突き付けられた結果となった。しかし、家庭養護について関心が深い人も多くいるので引き続き里親制度への関心を広めていきたい。

1 主催	関東甲信越静里親協議会 会長 眞保和彦 住所:静岡県静岡市 一般社団法人日本フォスターケア研究会 会長 小田切則雄 住所:山梨県甲斐市島上条1441 TEL 055-287-8087
3 事業名	一般社団法人日本フォスターケア研究大会開催事業 里親資質向上研修会(代表者会議)開催事業
4 事業の実施概要	
総括 参加者数	・コロナ禍で開催が実施できないという危機感・開催方法をZOOMオンラインで実施した。コロナ禍で参加意欲が減じているのか、オンライン参加者も少し減少し、参加数は135人であった。今後、コロナ禍後の会のあり方、開催方法等を検討実施する必要がある。
開催日時、場所	令和3年12月18日(土) 12時30分～16時30分 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟401号室 ZOOMオンラインによる開催
事業の目的	『大会テーマ』 「いま、里親に求められているはなんなのか」里親の目線で検討する。 『大会主旨』 平成28年の改正児童福祉法に基づき、同改正法施行後5年目の見直しの議論が進められています。里親委託が進み里親委託率が20%を超え25%に近づくと様々な課題が表出し、里親養育のあり方などが問われてくると思います。子どもの権利を守るための家庭養育を行うために、里親養育を応援するシステムの拡充、更に保護者が利用しやすい里親制度するためどのようなシステムが必要なのか、今回の児童福祉法の見直しでどのような議論がなされているのかを聞き、今後の里親制度、本来の里親養育のあり方などを考えていきたい。 里親に新たな役割などが求められ、現に活動している里親もおります。求められていることが実際にできるのか、できないのかなどについて活躍されている里親さんの意見を聞き検討を行います。
事業の内容	○基調報告: センター棟4階 401号室13時00分～14時40分 白井千晶 静岡大学人文社会科学部)教授 共働き里親調査研究の結果概要報告 ○基調講演: 相澤仁大分大学教授、・厚労省社会保障審議会社会的養育専門委員会、子どもの権利擁護に関するワーキングチーム座長 401号室13時50分 50分 「児童福祉法改正の動向:子どもの権利保障を目指した家庭養護の推進を中心にして」 ○ディスカッション 401号室14時45分～15時35分(50分) 子どもの最善の権利を守る里親養育! 課題と今後の方向性を当事者としての里親の視点から ・子どもの最善の権利を守る里親養育の現状、課題と今後の方向性を考える。 コーディネーター 小田切則雄理事 アドバイザー 相澤仁大分大学教授 登壇者 ・眞保和彦さん 関東甲信越静里親協議会会長・・・関プロの方向 ・市川和美さん 長野県里親会・・・適切な養育するため取組 ・前川知洋さん 群馬県里親会副会長・・・ファミリーホーム上野 ・星野優子さん 前東京都養育家庭の会役員 ○分科会 ユース意見発表 コーディネーター: 青葉紘宇前東京都養育家庭の会長 ユース :7名が登壇